

昭和49年4月25日発行



No. 69

人口の動き	
総 人 口	10,073 人
男	4,501 人
女	5,572 人
世 帯 数	2,386 戸
転 入	77 人
転 出	67 人

(3月末住民登録人口より)

発行／岐阜県川辺町 ■ 編集／川辺町役場総務課 ■ 印刷／中部印刷株

毎日ごくろうさん

大きな釜から蒸氣がたちのぼり、見る見るうちにおいしそうな食事ができていきます。
子どもの体位向上と健康増進にと、給食のおばさんはきょうもがんばっています。
毎日、ごくろうさん――



“生きがい予算、スタート

総額 9億7,729万円のゆくえ

**49年度
施政方針**

福祉／建設が最重点

健康で豊かな生活を推進

歳出のあらまし

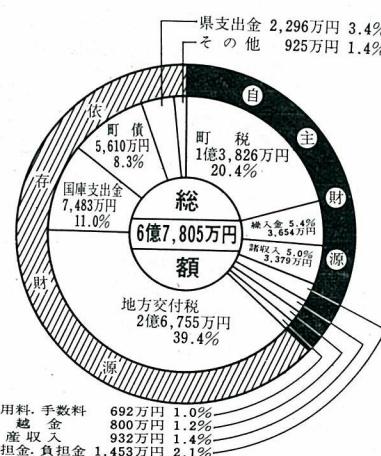
さる三月十四日から開かれた、第一回定期町議会において、昭和四十九年度予算が成立しました。一般、特別、企業会計を含めて昨年当初予算を一億六千七十六万一千円上回る、九億七千七百二十九万九千円の予算を可決しました。

「昨年末のエネルギー危機に端を発した異常な物価高騰に直面し、経済の先行きについては予測予断もつきかねる状況にあります。政府予算案においては、経済の正常化を最優先、最重点として総需要の抑制に総力をあげ、福祉優先、生活優先の施策がはかられています。本町においても、これらの背景を基本に限られた財政力のもとに当面急務を要する生活基盤の整備、住民福祉の充実などを重点に進め町民が健康で豊かな生活ができるよう総力をあげる覚悟であります。また、義務的支出の増加と人件費等の増加にともない、投資的支出は必然的に抑制され、新規の大事業は困難であり、従って継続事業のみにとどめて年間総合予算運用にあたって、できるだけ経費節減に努力いたす所存であります。」四十九年度の予算編成にあたり有本町長は施政方針の一端をこのように述べ、これから一年間の町行政が方向づけられました。

歳入のあらまし

五十五万一千円、国庫支出金七千四百八十二万六千円、県支出金二

千二百九十六万一千円などを計上しています。また、このほか町債、繰入金、諸収入、分担金、負担金財産収入などがあてられています



地方自治の発展は、その財政力の大小で影響されますが、そのはかに限られた財源をいかに有効適切に使うかによって大きく左右されます。

従つて的確な財源の確保の見通しのうえにたって、新年度予算是計上されました。私たち町民が直接負担する町税は一億三千八百二十六万三千円で総収入に占める割合は二〇%、そのうち町民税は六千四百八十八万六千円と、最近の経済不況の現状から税の伸びはあまり期待できません。そこで地方交付税二億六千七百

・社会福祉

乳幼児の対象範囲を拡大

増となっていますが、これは人件費の増大と諸物価の高騰によるもので、努めて諸経費の節減をはかり、実質的な伸びはありません。おもなものとしては、県が実施する木曽川流域浄水事業に関連して、公共交通安全対策費、駐車場建設のための調査設計委託料、ほかに参院選、知事選挙費などが見込まれています。

・議会と役場

流域浄水事業の関連計画

住民福祉の向上は行政最大の目的であり、本年度も積極的におし進めていきます。

しあわせは身も心も健康でなければなりません。老人福祉、児童福祉対策には本年度も一層の充実を図り、なかでも乳幼児医療の助成化については、乳幼児の対象範囲をこれまでの生後二十四ヶ月から三十六ヶ月までと年齢の幅を引き上げました。

ガン検診、結核予防、環境・母子衛生費なども増額されています。また、経済社会の急激な発展に

ともない、廃棄物の処理はますます悪化しており、ゴミ収集処理をはじめ、屎尿処理への負担金も含めて、健康で明るい町民生活を支えます。

なお、国保会計へ六百五十万円の繰出し、水道事業会計へ一千八百一万八千円を出資しています。

• 保健衛生

予防接種を無料化

経済発展の恩恵を十分受けることのできない老人や身心に障害のある人たちに、あたたかい手をさしあげ、それにふさわしい生活ができるよう望むことは、今日の福祉行政の中心的課題でもあります。こういった観点から、本年度も重度心身障害者の医療費の助成化をはじめ、インターほんの取付けも前年に引き続いて積極的に進めています。

• 十木行政

道路新設改良と 町営住宅の建設

経済発展の先導的な役割りを果たす道路の整備と保全は、町民生活の向上に大きな位置を占めています。

都市下水路関係では、能田下水路四百四十㍍の管路工事計画、住宅施策としては前年度に引き続いだ比久見団地に町営住宅二十戸を

• 消防關係

積載車にスピーカーの取付

経済発展の先導的な役割りを果たす道路の整備と保全は、町民生活の向上に大きな位置を占めています。

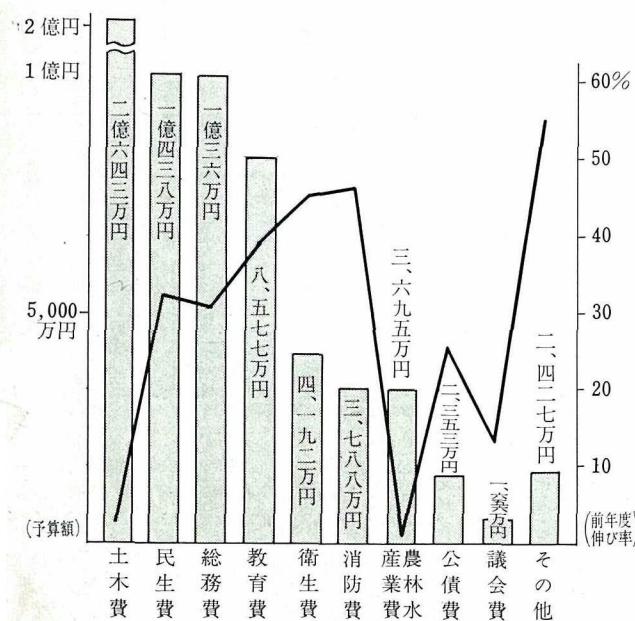
最近の急激な社会情勢から、農業はその生産性と所得格差の深まりによって、農業の安定性が不安になってきて います。

応した機械化が強く要請され、本年度は積載車にスピーカーの取付け、小型動力ポンプ二台の購入、そして年次計画にもとづく防火用水施設の新設も計画されるなど、防火体制にいっそうの万全が期されます。

そのほか可茂消防事務組合をはじめ消防関係協会などへの負担金も増額計上しています。

町勢発展の基本は人づくりであることから学校教育と社会教育、そして保健体育の向上をはかり、優れた知性、豊かな情操、強い体力を兼ね備えた健康で明るい人材の育成がねらいです。

歳出の内訳



農林業振興

水稻育苗センター
の新設

建設、ともに住みよい生活環境をめざして町民生活の向上、安定に努めてまいります。

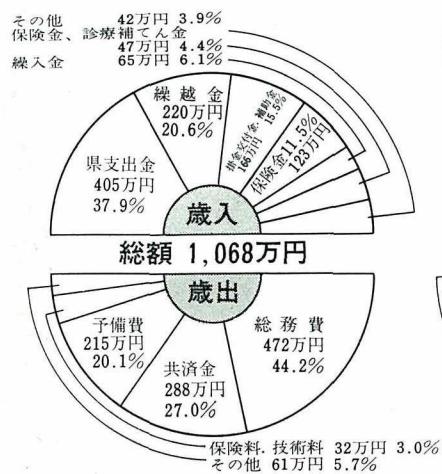
能の向上、防火、防災思想の強化と徹底など、町民生活の安定と治安維持に大きな役割りを果たして

10

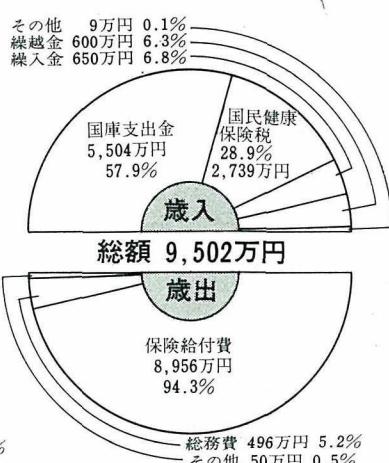
昭和49年4月25日発行

特別会計

農業共済会計



国民健康保険会計



公営企業水道会計

資本的収入及び支出 (単位 千円)

取入	支出
企業債 132,800	建設改良費 139,843
出資金 18,018	企業債償還金 16,189
分担金 5,214	
計 156,032	計 156,032

学校給食共同調理場会計 (単位千円)

歳入	歳出
事業収入 37,480	事業費 37,496
諸収入 6	
繰越金 10	
計 37,496	計 37,496

康保険税二千七百三十九万四千円
国庫支出金五千五百四万二千円、
一般会計からの繰入金六百五十万
円、繰越金六百万円などとなっ
ています。とくに保険税については
昨年度より二六%の増を見込んで
います。

町民の健康を守る歳出について
は療養給付費が前年度当初に比較
して約四〇%アップの八千五百十

四十九年度は一億五千六百三万
円が見込まれ、この一年間運
営されることになりました。

資本的収入では、企業債の借入

一万円で総予算の九割を占めてい
ます。このほか、高額療養費の負
担に百五十二万八千円、助産費
として約四〇%アップの八千五百十

(一件当たり二万円)、葬祭費、育児
手当(それぞれ一件当たり六千円)
計上しています。

れ一億三千二百八十万円、一般会
計からの出資金一千八百一万八千
円などとなっています。

■ 水道事業会計のあらまし ■

一部負担金の額や療養に要する
費用の額から療養費の額を控除
した額が三万円をこえたときは
その超過分を「高額療養費」と
して七月一日以降、療養にかか
った人に支給されることになりました。

■ 国民健康保険税条例の一部改
正について

30 100から34 100に、被保険者ひ
とりについての均等割が二千百
円から二千四百円に、一世帯あ
たりの平等割二千五百円から二
千九百円に、それぞれ引き上げ
られました。

■ 農業共済条例の一部改正につ
いて

農作物共済の共済金額につ
いて、単位あたり水稻については
今までの八十円から百二十円に
いた

30 100から34 100に、被保険者ひ
とりについての均等割が二千百
円から二千四百円に、一世帯あ
たりの平等割二千五百円から二
千九百円に、それぞれ引き上げ
られました。

■ 農業共済条例の一部改正につ
いて

今までの八十円から百二十円に
いた

農作物共済の共済金額につ
いて、単位あたり水稻については
今までの八十円から百二十円に
いた

■ 神坂線道路改良工事請負契約
金額の変更について

さる一月の臨時町議会で神坂

線道路改良工事を一千五百十万
円で請負契約をし、実施するこ
とが決まりましたが、その後工
事内容に一部変更があり、従つ
て契約金額が一千三百二十八万
四千円に変更されました。

■ 比久見団地公営住宅の建設工
事請負契約金額の変更について

比久見団地公営住宅の建設工
事請負契約金額の変更につい

て

去年十一月の臨時議会で比久

見団地の建設工事を三千二十八
万円で請負契約しましたが、請
負契約金額の更改により、三千
二百五十九万二千円に変更され
ました。

■ 昭和四十八年度補正予算につ
いて

歳入歳出に五千八百四十三万
円を追加し、予算総額を六
億九千百二十四万円としました

おもな内訳は、財政調整基金

の積立金に五千二百十萬円、土
地開発基金積立金一千三百万円
比久見団地の住宅建設工事請負
金二百三十一万二千円などとな
っており、上水道整備費三百五
万九千円と、木曾川右岸用水土
地改良事業費七百六万七千円が
それぞれ減額されています。

△ 特別会計△

農業共済会計は三十三万二千
円を追加、予算総額はこれで九
百三十二万九千円となりました

補正内容は、三十一万四千円
を支払共済金の法定積立金。

学校給食共同調理場会計では
五百五十六万三千円となりました
五百六十万三千円。

△ 特別会計△

農業共済会計は三十三万二千
円を追加、予算総額はこれで九
百三十二万九千円の補正。これ
は学校給食用物資の値上げによ
るもので、予算総額は二千五百
七万五千円としました。

△ 水道事業会計△

企業債など三千二百八万八千
円の減額補正により、この会計

の予算総額は一億二千三百六十
万円としました。

資材高騰などで一部工事の遅れ

四十九年度は三工区を実施

事計画とあわせて、次のように施行されることになりました。

四十八年度分の実施計画

▽第三工区 延長三千二十三尺の配水管布設、事業費一千九百万円で四月一日から七月末日まで

▽第四工区 布設工事、事業費二千二百万円で七月一日から八月末日まで

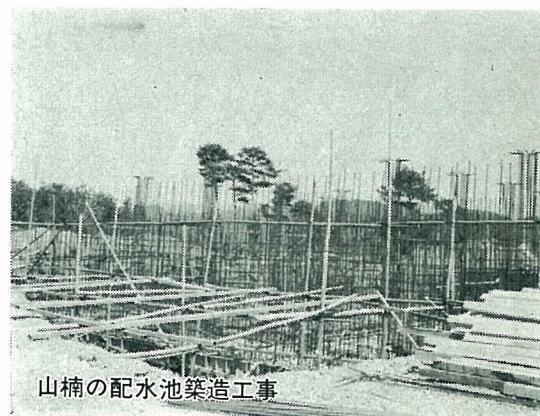
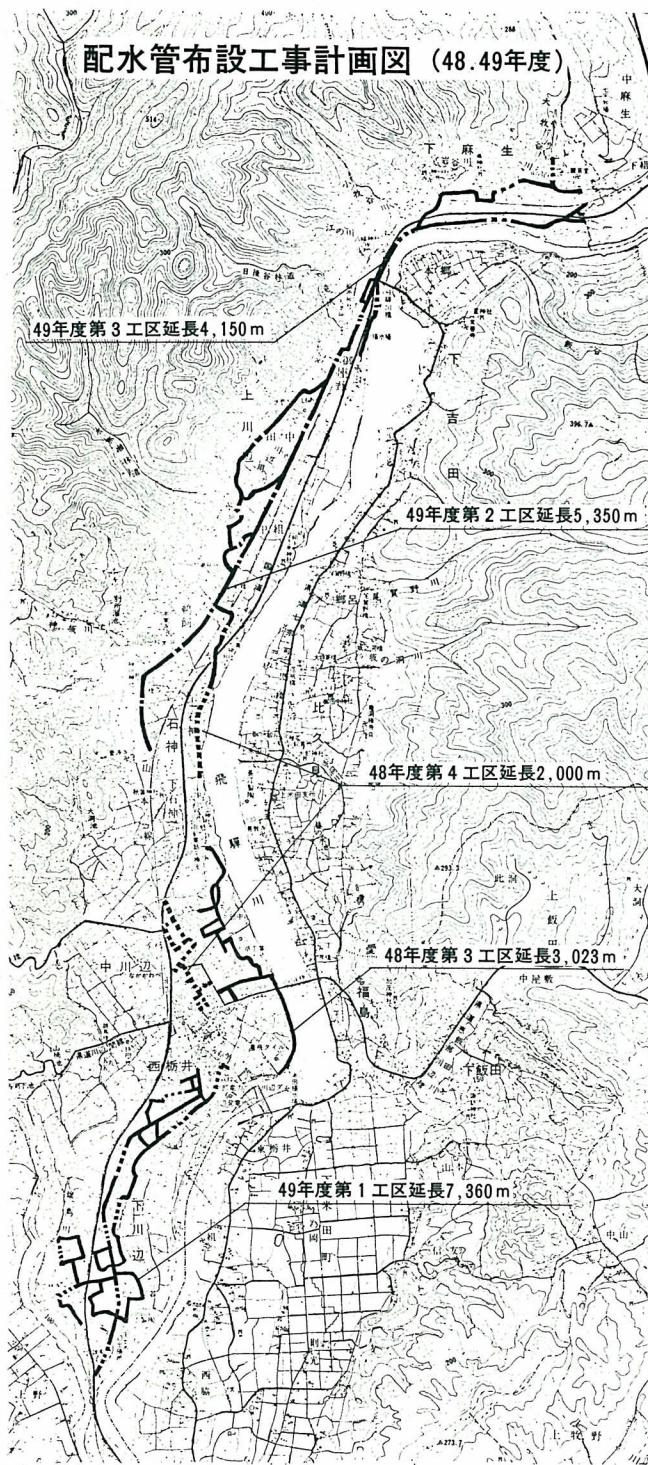
▽第一工区 西折井、下川辺地域の配水管の布設延長約七千三百六十尺を八月一日から十月末日まで

▽第二工区 上川辺、石神地域の延長約五千三百五十尺を九月一日から十一月末日まで

▽第三工区 下麻生地域の延長四千一百五十尺を十一月一日から五十年二月末日まで

なお、この四十九年度における水道総事業費は、一億五千六百万円が見込まれています。

このように本年度の事業は計画されましたが、先に述べたように県道川辺／関線、山川橋の水道管架設などについては五十年度に実施できるよう計画し、五十年三月の完全給水を目指に今後進めていきますのでみなさんのご理解ご協力をよろしくお願いします。



山楠の配水池築造工事

広く快適な町づくりの基礎としてはじまつた上水道建設事業は、ことしに入って二年目。今日の近代的、合理的な生活によつて、水の需要量は年ごとにふえており、こうしたなかにあって上水道の完備は一日も早く待たれるところです。

木曽川右岸用水道の建設工事事務所の話では、「川辺町への給水予定期日は、昭和五十一年三月末日を目標として工事を進めているが岩屋ダムとの関係もあつて、遅くとも秋ごろまでには給水を開始したい」という考え方であります。

給水まであと二年。町としても建設工事計画にもとづいて事業を進める一方、各家庭給水についても町としての考えをまとめ、給水管規則等の原案作成を急ぎ、協議していく方針です。

ところで町水道事業は、四十七四八年度は配水池の築造工事と中川辺地域を中心として配水管布設工事を進めてきました。しかし資材高騰をはじめ、県道川辺線沿いで土地改良工事、中川辺下水路工事、山川橋の水管管架設問題なども関連して、四八年度の工事事業が一部遅れ、今年度の工

レポート

貧富差が大きいフィリピン

洋上セミナーに参加して

比久見／長瀬義広
西柄井／田原謙治

私は第二回、東海青年洋上セミナーの一員として、フィリピン、香港の訪問を含む二週間の研修に参加させていただきましたことは光榮に耐えない思いです。

限られたスペースと時間に制約された規律ある船内生活、研修講義、二ヶ国訪問、現地青年との交流と、あわただしい毎日でした。

短い期間でしたが初期の目的はじゅぶん達せられたと思つています。

これから時代は、やはり外國語のひとつは話せなくてはならないと痛感しました。

私たちがマニラに着いたのは正月元旦。観光バスに分乗して市内の施設見学に向いました。群衆の顔は、日本人によく似ていて、違っているところといえます。服装ぐらいのもの。大小一千余りの島々から成りたち、山が多く高溫多湿ではあります。

でも、これらの事実を知り得たことは国を訪れて、はじめて

住みやすいように思いました。

しかし、この国人達は、わが国と比較して貧富の差が大きく、上流、中流、下流階級とかれ、市内には階級ごとに住む場所も分けられ、今の日本では考えられない現実でした。

それは政治とか社会のしくみが異なっているからだと思うし、また、政治家のなかにも働く者の味方、商業、農業、労働者代表者が出ていないことも起因しているのではないかよう。

見学の景色のなかには、まだまだ戦争の傷あとがあちこちに見えられ、行きかう日本人を見る目が、うらんでいるかのように見えました。

また、日本企業の進出はめざましく、経済大国、日本の名をほしいままにして、事実この国の繁栄を願っているのか疑問に思いました。それは人々の生活をおびやかし、一部の人々に利益を与え、貧しい人々は変ぬ日々を過ごし、まことに悲しく思いました。



フィリピン民族舞踊のひ露——マニラホテルにて

わかり、貴重な体験となりました。

マニラホテルでの現地青年との交歓会ではかたことの英語で身ぶり、手ぶりよろしく、すぐ友達になることができました。交歓会ではプレゼントの交換民俗舞踊のひ露など、なごやかなうちに事前研修の成果が歌や踊りに發揮されました。いつも終るととも知れない交歓会も、翌日のみながら閉会しました。

成くださった方に、紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

(敬称略)
▽上川辺、坪内光三 ▽石神、平岡和一 ▽中川辺、加藤仙吉 ▽西柄井、山田耕作 ▽下川辺福田文雄 ▽鹿塩、横田衆司 ▽下飯田、山田勇 ▽福島、山田光雄 ▽比久見、加藤正雄 ▽下吉田、馬場島三郎 ▽下麻生、佐伯春夫

おしらせコーナー

町職員を募集します

町では、次により職員を募集しますので、希望者は五月三十日までに申し込んでください。
▽採用予定者数、男女各若干名
▽給与、行政職給料表による
▽提出書類、履歴書、戸籍謄本
なお、その他くわしいことは役場総務課人事係までお問い合わせください。

新区長さんを
ご紹介します

みなさまの代表として選ばれた、新しい区長さんが決まりましたのでご紹介します。

なお、前区長さんはじめ、組長さんにはいろいろな分野にわたってご活躍いただき、大変お世話をありがとうございました。

カメラルボ

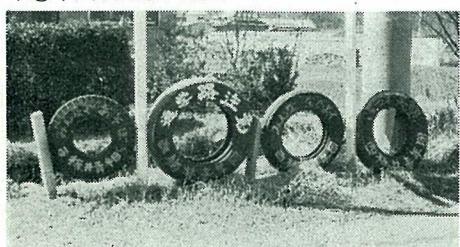
西柄井の田原太義さんは（前町長）は内閣総理大臣から紺綬褒章を授与されました。田原さんは昨年7月町教育委員会を通じて中部中学校へ「教育のために使ってください」と、100万円もの多額のお金を寄託され、このほど国の褒章条例によって行賞されたものです。



さる
3月17
日、町
内ソフ
ト、バ
レーボ
ール大
会が行
われた

なれど、各地区的選手は日ごろの練習の成果をいかんなく發揮し、白熱したゲームを展開しました。成績は次のとおり（数字は順位）

▷ソフトボール ①下麻生②中川辺上③西柄井上川辺 ▷バレーボール ①石神②中川辺下③中川辺上、西柄井



西柄井青年団（支部長、山田一雄君）は、先ごろ交通安全に一役果たそうと西柄井、下川辺地内の町道23ヶ所に、交通安全啓発用の古タイヤを設置しました。

私たち青年をとりまく環境は生活、文化などとともになつて改善されてゆかねばなりません。ところが今日地域に定着する青年が少くなり通勤的勤労青年が増えていきます。

そこで今年度は、「若者の輪をひろげよう」を基本目標に、青年団の原点をかえりみて、仲間づくりを中心各青年団員の自主交流を促進し、青年、町民が一体となって、明るく住みよい郷土、環境づくりを進めたいと考えています。

そして、私たちに同意する君達と手をつなごうではありませんか

毎月活動計画
中央公民館
P.M. 7.30 ~ 9.30
△第一週（木） 慰問
△第二週（木） 成人式
△第三週（木） 総会
△第四週（木） しゃべる会
△第五週（木） レクレーション
△第三週（金） 若人のつどい

■青年協議会より



年間活動計画

▽四月
△五月
△六月
△七月
△八月
△九月

物価問題などの苦情
は行政相談委員に

町長と語る会
歩け歩け運動
婦人会と語る会
料理講習会
盆踊り大会
キャンプ
スポーツ教室
御殿場研修（郡連）

▽第四週（木） しゃべる会
▽第五週（木） レクレーション
△第三週（金） 若人のつどい

青年協議会では、だれでもが気軽に参加できるようにと、以上のようない活動を推進していきます。

「若人のつどい」では、勉強会から歌、フォークダンスまで幅広くみんなの要望を入れ進めていきたいと思っています。

また「しゃべる会」では私たち若者の悩み、不満、自満はなしでなんでも話していくたいと思っています。私たちに同意する若者

青春を価値あるものにと考えている若者」。

どうか団員推進係、鈴村一晴（電三七二七）へ連絡または、毎月第三金曜日の「若人のつどい」第四木曜日の「しゃべる会」へきてください。

おしらせコーナー

第十二回商業統計調査が五月初旬に行なわれます。

この調査は、すべての商店を対象に五月一日現在の商店数、従業者数などを業種別、規模別には握し、商業活動の実態を明らかにするためのものです。

調査にあたっては県知事から任命された調査員が、来月初旬にみなさんのお店へ伺い調査表の記入を依頼しますので、よろしくお願ひします。

なお、提出された調査表は、統計以外に使用しませんので正しく記入して下さい。

ご協力ください
商業統計調査に

費者から物価などの苦情を受けて適切な改善措置がとられるようになりました。

相談を受ける事項は①標準価格を表示していない小売業者②標準価格より高い価格で販売している小売業者③買い占め、売り惜しみしている業者④商品が地元では異常に値上がりしている⑤商品が地元では買えないことなど、物価についての意見、要望、苦情がありましたら行政相談委員、平岡秀市さん（石神）電話三五八四へ申し出てください。

